

## 学校評価委員会開催議事録

日時 2022年5月24日(火) 10:30～11:30

新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 2階 会議室

参加者 片山先生 浅野副校長 勝田科長 大西主任 長井事務長

作成者 長井

書面 對馬様 牛様 (事前に自己評価をお送りし書面にてご意見を頂いた。)

法人運営について 長井事務長

4月1日より新校舎での授業がスタート。皆様のご協力により無事滞りなく引っ越しを終えることが出来た。4月中は、小さなトラブル等あったものの全体的には問題なく運営出来ておりほっとしている。

歯科衛生士科は、例年通り定員に達することが出来た。

歯科技工士科は、例年定員割れとなっているが数年振りの20名越えとなり、少しずつ活動が実を結んできていると感じる。統合したことでの効果も大きいと感じている。

次年度もさらに認知度向上に努めていきたい。

教育目標 今年度重点目標発表 (別紙資料にて)

歯科衛生士科 大西主任

反省

〈国家試験合格100パーセントの維持〉

国家試験対策を開始した際に、国家試験に対しての不安が必要以上に大きくならないよう、低学年からの知識の定着が必要だと考える。

また、過去や現在行われている模擬試験問題及び解答をインターネットで入手した学生は一見点数が取れているように見えているため、国家試験対策に対する分析が乱れる。

今後はこのようなケースが増える事を見越し、試験問題の選定を慎重に行う。また、指導の際に教員が感じる違和感で補習を全体で共有し、知識の充足が出来るよう努める。

〈入学者の定員充足と退学者・休学者ゼロの実現〉

オープンキャンパスやガイダンスの際、歯科衛生士の仕事のやりがいや、当校の特徴をさらに参加者に知っていただく。

学年ごとに出やすい不安を理解し、学生の心のケアを怠らないようにする。全教員の目で学生の様子を見、小さな変化を見過ごさないよう努める。

〈多職種連携を意識したカリキュラムの構築〉

コロナウイルス感染症による影響が以前より薄れたため、技工士科や、関連施設(歯科医院・

特別養護老人ホーム)とさらに連携をし、体験型の実習を強化する事で、学生の視野を広げる。

#### 〈非常時における講義、実習内容の強化〉

感染防御対策を徹底した上で対面型の実習が実現できたが、今後学生が自宅で実習を受け際には、新校舎で導入する機器の使用方法を工夫し、内容の充足を図る。

#### 今期の教育目標

##### 1 国家試験合格100パーセントの維持。

- ・早期より国家試験対策に入り、成績不良者を抽出する。
- ・点数だけでなく、学生の性質、環境、体調も考慮し、取りこぼしの無いよう、補講者の決定をする。
- ・インターネット等での模擬試験問題流出対策を行う。

##### 2 入学者の定員充足と退学者・休学者ゼロの実現

- ・他職種とは異なる明確な魅力を提示する。
- ・当校の教育理念に沿った教育により輩出した卒業生の例を挙げ、具体的に将来像をイメージさせる事で、志の高い入学者を獲得する。
- ・在校生一人ひとりの状況を把握し、ケアを徹底する。

##### 3 多職種連携を意識したカリキュラムの構築

- ・歯科技工士科との合同講義、実習の機会を増やし、お互いの理解を深める。
- ・関係施設、協力施設との連携を深め、実習内容の見直しを図る。

##### 4 非常時における講義、実習内容の強化

- ・従来通り、在宅でのインターネット授業を行い、学生の理解、反応をリアルタイムで確認出来るような講義を引き続き行なう。
- ・登校出来ない状況が長期に及んだ際には、現在ほとんど行なっていない、インターネット授業での実習について内容の充実を図る。

歯科技工士科 勝田科長

#### 反省

合格率は達成できたが、歯科技工士科は2年間の就学期間で学生の成績を向上させなければならず、入学時から良く見る、指導をし、個性を見極め成績向上に努める必要がある。一学年では進級に不安な学生がおり、保護者と相談の上、進級を見送り留年とした。

二学年は国家試験前の勉強について来られず、出欠状況が悪くなり受験前に退学をする学生が出てしまった。どちらも早期の勉強の対策等を行い、そのようなことが行ないように務める。

多職種連携においては歯科衛生士科との合同授業を通し、コミュニケーションを重視し、社会に出た時に自身行動できるよう、苦手な部分の改善を行い授業に務めている。  
歯科技工士科学生から歯科衛生士科に教える授業も例年継続して行っている。

非常時における授業対策はコロナ感染症の影響が非常に大きく、二学年では国家試験受験にもかかわることもあり、受験者を第一と考え感染リスクを減らすために他学年は遠隔授業で対策を行った。

#### 今期の教育目標

##### 1 国家試験合格率100%の維持

###### (1) 教育・指導の質の向上

指導内容の反復や確認を行いながら、学生の理解や状況判断ができるよう指導の強化を行う。

###### (2) 国家試験・進路指導の充実

2 - (1) の不足により国試関連報告改善対策予定の早期計画  
模擬試験学校順位を上位にする。

##### 2 入学者の定員充足と退学者・休学者ゼロの実現

###### (1) 「報告・連絡・相談」の徹底

###### (2) 遅刻・欠席者の減少対策

###### (3) 学生募集での職業の将来性、成功・現況例の情報伝達

##### 3 多職種連携を意識したカリキュラムの構築

###### (1) 関係施設・協力施設の連携強化

卒業生を講師として授業や卒業情報の提供や実技の強化を行い、学生への目標意識をはっきりさせる。

##### 4 非常時における講義、実習内容の強化

###### (1) WEB公開できる資料制作

(2) 技工操作は実習が多くなることもあり、通信機器を利用し自宅でも手元が分かりやすいようなデモンストレーションが出来るよう、長期間のネット通信授業に対応、指導の充実を図る。

片山先生

- ・ 歯科衛生士科のお話にあったインターネットの普及による試験問題やノート等の流出に対応する為、試験のやり方を再検討してはいかがでしょうか？
- ・ 歯科技工士に関しては、人材不足が続いており歯科医師会においても危惧されている問題。必要とされる仕事なので引き続き世の中全体で考えていかなければいけない。
- ・ 国家試験合格率 100%は素晴らしいことなので是非今年度も続けて欲しい。

對馬様

(書面より抜粋)

- ・ 日々、SNS やメールを通して学校の状況が配信されており安心して通わせることが出来ている。
- ・ 国家試験の受験率・合格率はすばらしく様々な体制が整っており運営に関しても問題ないと思う。
- ・ 実習先との年 2 回の会議に加え、生徒の動向をより細かく把握する為にも月に 1 度の連絡会があっても良いと思う。
- ・ コロナ禍において退学者、休学者が増えたようですが生徒の変化をキャッチしたら早めの面談と定期的な家族への連絡をお願い致します。

牛様

(書面より抜粋)

- ・ 保健、医療、福祉などにおけるチーム支援、多職種連携についてもっと学校でも勉強出来たら良いと思う。

以上